

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科			
科目名称	子ども家庭支援の心理学							授業形態		講義	
科目コード	750162	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	石本 隆士									ICT活用	
授業概要	本授業の目的は、保育者に求められる心理面での専門性を養うことである。 特別支援教育コーディネーターや教育支援員会専門調査委員の経験を活かし、生涯発達とは何かを捉えた上で、乳幼児期から老年期までの発達を段階ごとに学ぶとともに、子育てを取り巻く社会状況や親子・家族関係、多様な家庭形態等の理解を図っていく。 また、事例等を通して具体的な支援のあり方についての理解を深めていく。										
関連する科目	履修前に「発達心理学Ⅰ」を履修しておくことが望ましい。										
授業の進め方 と方法	基本的に講義を中心とし、パワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開する。 また、学びをさらに深めるために、グループによるディスカッションやプレゼンテーションを行う経験を通して、深化を図る。										
授業計画 【第1回】	生涯発達とは何か										
授業計画 【第2回】	乳幼児期										
授業計画 【第3回】	乳幼児期の発達①～1歳以上3歳未満児～										
授業計画 【第4回】	乳幼児期の発達②～3歳以上児～										
授業計画 【第5回】	学童期前期の発達										
授業計画 【第6回】	学童期後期の発達										
授業計画 【第7回】	思春期・青年期の発達										
授業計画 【第8回】	成人期・老年期の発達										
授業計画 【第9回】	子育てを取り巻く社会的状況										
授業計画 【第10回】	家族・家庭の意義と機能、親子・家庭関係の理解										

授業計画 【第11回】	子育ての経験と親としての育ち-ライフコースと仕事・子育て-
授業計画 【第12回】	多様な家族形態とその理解
授業計画 【第13回】	特別な配慮を必要とする家庭
授業計画 【第14回】	発達支援の必要な子どものいる家庭
授業計画 【第15回】	子どもの精神保健
授業の到達目標	(1)生涯発達に関する心理的变化を説明することができる。 (2)家庭・家族の意義や機能を踏まえ、保育者が行う家庭支援について考えることができる。 (3)発達支援の基本となる姿勢に基づき、保育保育実践を理解することができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	授業の中で、次回の授業内容・課題などを提示するので、各自で確認したり、調べたりしておく（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	テキストや適宜用意する資料等を基に、習得した内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等でさらに深めたりしておく（1時間程度）
課題に対する フィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等は、次時の授業時間に解説を行う。
評価方法・基準	通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容（20%）、及び最終試験（80%）で総合的に評価する。
テキスト	青木紀久代編（2020）『シリーズ知のゆりかご子ども家庭支援の心理学』みらい（2,100円＋税） なお、必要に応じて資料を用意する。
参考書	厚生労働省編（2018）『保育所保育指針解説』フレーベル館（320円＋税）
備考	